榛原中学校学校だより　令和５年３月２日

こころざし

笑　顔　あ　り　が　と　う

成長をささえるもの

「学校が落ち着いていますね」「話がきちんと聞けますね」
学校を訪問する方々は、口をそろえてそのような感想をくださいます。
今年度も、多くの方に学校にお越しいただき、榛原中の生徒たちをともに育てていただきました。
人の成長は、教えや励ましがなければ実現されません。
榛原中学校の生徒たちの成長は、校内のみならず、御家庭や地域の温かな関わりの上にもたらされたものであることは間違いありません。
一年間、榛中をささえていただいたことに感謝申し上げます。来年度も榛中をお願いいたします。

2.24 読み聞かせ

2.22 三年生面接指導

お世話になった方々へ

運営委員を中心に、いろいろな場面でお世話になった方たちに、生徒たちからのメッセージを贈る活動を行っています。
力を貸してくださった皆様に、少しでも「やって良かった」と思っていただければ幸いです。
２月３日の学校運営協議会では、生徒から直接メッセージを手渡しました。心つながる瞬間がそこにありました。

先輩から後輩へ　～生き方を伝える～

２月 21 日の学校保健委員会には、講師として本校卒業生である榛葉達也さんをお迎えし、「自分らしく生きる」という題目で、講話をいただきました。余命宣告という事実を受け止め、しっかりとした足取りで歩み続ける榛葉さんの生き様、そして言葉に心が熱くなりました。

自分を信じること、信じることのできる自分になること
時間を大切にすること
０と 0.1 は全く違う－確率が０でない限り成功の可能性はあるということ
本物の努力をした者の失敗を笑う人はいないということ

どれもが私たちが生きるために必要な言葉ばかりでした。
これからの人生、何かを乗り越えなければならない場面や、苦しくてあきらめたくなる場面はきっと何度もあると思います。そんな苦しい場面で「今の自分の行動は正しいのか」と自分自身の答え合わせをする時には、榛葉さんの魂のメッセージを思い出すことになりそうです。